



# 久屋小だより

大田市立久屋小学校

令和6年5月

(校長 山本孝志)

前号に続き、学校経営についてもう少し述べさせていただきます。

(4ページの「令和6年度 久屋小学校の教育」をご参照ください。)

○学校教育目標 心豊かに かしこく たくましく生きる子供の育成

○めざす児童像 優しい子・思いやりのある子  
基礎・基本を身に付けた子・主体性のある子  
健やかな子・粘り強く続ける子

- 久屋小学校には、めざす児童像にあげたような姿の子どもが、すでにたくさんいます。「さらに優しい子」「もっと主体性ある子」、そのような姿をめざしていきます。
- そして、学校教育目標の達成のためのすべての取組を支える土台となるのが「人権教育の充実」です。
  - ・「自分を大切にする、同じように他の人も大切にする」という気持ち
  - ・「偏見や差別は許さない」、「いじめはしない、させない、許さない」という姿勢
  - ・多様性を受け入れる寛容な心学校教育目標の達成は、こうした風土の上に成り立つものだと考えています。重点項目として、人権教育の充実をめざします。
- 学校運営協議会で出されたご意見も大切にします。子供、保護者、地域、職員全員で素敵な久屋小学校をつくらせていきたいと考えています。
- 今年度、中国五県造形教育研究大会が大田一中校区で開催させることになっており、久屋小学校は研究授業発表校となっています。造形的な見方・考え方を働かせた図画工作科の授業の研究を通して、豊かな情操を培いたいと考えています。授業発表は11月22日(金)です。

～ 4・5月の様子から～

## 業間マラソン



毎週火曜日の業間に、マラソンタイムを設けています。自分のめあての達成に向けてがんばって走っています。

## 体育の学習



教育課程を工夫し、4・5月は陸上運動系（走の運動遊び(1・2年)、走の運動(3・4年)、陸上運動(5・6年))の学習を主に行いました。5・6年生は、大田市連合運動会に向けた取組にもつなげています。

## 1年・5、6年 タブレット交流会



5・6年生が1年生にタブレットの操作を教えています。5・6年生の優しく、わかりやすい指導により、1年生はタブレットの操作が、どんどん上達しています。

## 2年 生活科の学習



野菜の苗を植えました。自分の手で大切に育てる重要な学習活動です。優しく心を込めて植えていました。

## 3年 町たんけん



班に分かれて学校周辺を歩き、建物、施設、土地の使われ方などを白地図に記録しました。今後は情報共有しながら全員でまとめをします。

## 4年 図工の学習



図工の「ぬのをつないで」という学習です。造形遊びに夢中になって取り組みました。

## 見守り活動



<4/11 顔合わせ会>

地域の方が児童の登校の見守りをしてくださっています。4/11に顔合わせ会をしました。5/16は、荒天の中でしたが、たくさんの方が学校に来てくださいました。ありがとうございました。子供たちもがんばって登校しています。



<5/16 見守り活動>

## 5/16 交通安全教室

久利駐在所の永井さん、大田市スクールガードリーダーの松井さんに来校いただき、ご指導いただきました。子供たちは大切なことはわかっている様子でした。あとは、実践をしていくことですね。



# 令和6年度 久屋小学校の教育

【学習指導要領】  
・社会に開かれた教育課程の実現  
・カリキュラム・マネジメント

学校教育目標

心豊かに かしこく たくましく生きる子供の育成

【信頼される 学校づくり】  
家庭、地域との連携  
学び続ける職員集団  
教育環境の整備

【しまね教育 魅力化ビジョン】  
ふるさと島根を学びの原点に  
未来にはばたく心豊かな人づくり

【めざす児童像】

- 優しい子・思いやりのある子
- 基礎・基本を身につけた子・主体性のある子
- 健やかな子・粘り強く取り組む子

【大田市 教育ビジョン】  
わが里を誇り、大田と世界の未来を拓く

学校教育重点目標

気づき 考え みんなで創り出す  
～子供主体の学びの文化・くらしの文化の創造～

気づき

- 「なぜ。どうなってるの。」
- 「泣いている人がいる。」
- 「やってみたい。」
- 「あいさつが気になるな。」
- 「解決したい。」
- 「全校、仲良くなりたいな。」
- ◎価値ある「気づき」から学習課題やめあてを醸成していく。

考え

- 単元・教材・題材との出会わせ方・学びのプロセスを描く。
- 学びのプロセスを大事にししながら、自分の方法で思考する（見方・考え方を働かせる）。
- 根拠をもって考え、言語化する。
- くらしを創る方法を考える。
- ◎主体的な思考・判断・表現の場を創る。

みんなで創り出す

- 友達と考えを交流し、多様な見方や考え方の獲得、思考・判断・表現の深化、学びやくらしに生きて働く知識・技能の習得を図る。
- 合意形成を図りながら、解決策を模索し、実践につなげ、成果・成長を実感する。
- ◎生きる支えとなる学力・協働性・自治性を育成していく。

重点目標実現のために

- 道徳教育の充実
- 特別支援教育の充実（学びの場の保障）
- 見方・考え方を働かせた授業の研究・実践（図画工作科を中心に）
- 読書・ICT活用の積極的な推進
- 生徒指導の充実（児童会とのリンク）
- 健康教育・安全教育の推進

○人権教育の充実

学校運営協議会をもとにした「学校と地域のつながり」

○年3回の学校運営協議会の中で、地域の思いや願いを確認し、経営に活かす。

第2回は教職員との懇談会を実施し、授業や学級経営の現状について情報交換を行う。

○右の子供像に向かうための協議（6月学校運営協議会の中で具体策協議）。

○学校の取組への参画（遠足・授業公開・児童総会・学校行事・学校行事前練習など 月行事表を見て来校）。

○3回目の学校運営協議会（3月実施）の中で、次年度の学校経営（改善策）への参画の仕方を協議する。

○校内の困難な事案（児童の問題行動や不登校、教職員の不祥事 等）にかかわる連携した対応をしていく。

地域の願い

- ・大屋が 久利が 好きな子
- ・自信をもって 生きる子